

日時

2019年6月13日 木
19:00~21:00 (18:30開場)

会場

大竹財団会議室
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル11F

講師

内田 聖子さん
アジア太平洋資料センター
(PARC)共同代表

参加費

一般=500円
学生、大竹財団会員=無料
定員30名【要予約】

主催

一般財団法人
大竹財団

SMALL PLANET PRODUCTIONS PRESENTS

UP TO THE LAST DROP

THE SECRET WATER WAR IN EUROPE

A Yorgos Avgeropoulos film

上映会+トーク

最後まで

ヨーロッパの隠された水戦争

現代のヨーロッパにおける価値観と民主主義の質を物語る
水を描いたドキュメンタリー映画

Produced by
Mia Papaioannou

SmallPlanet
DOCUMENTARY PRODUCTION HOUSE

in coproduction with
σε συμπαραγωγή με

arte

ERT

KG



Web予約
PC・モバイル共通



<https://bit.ly/2Yj9Qzw>

水道サービスは誰が担うべきなのか？



私たちが生きていく上で必須である「水」。しかし1990年以降、多くの国や自治体で水道民営化がなされ、多国籍企業が利潤を得てきました。ところが2000年以降、パリ市やベルリン市をはじめ多数の自治体で進む水道の再公営化は、世界の大きな潮流になっています。一方、ギリシャやポルトガル、アイルランドなど、2008年の欧州債務危

水は商品か、人権か？

機で深刻な打撃を受けた国々は、今まさに水道民営化を迫られています。いずれの国でも、市民や自治体議員などが「民営化という幻想」から脱し、主権や民主主義、自治を取り戻そうとしています。ヨーロッパの動きと逆行するように、水道民営化を進めようとする日本。作品に登場する人々の経験は、私たちに大きな示唆を与えます。



原題：UP TO THE LAST DROP

—THE SECRET WATER WAR IN EUROPE

監督：Yorgos Avgeropoulos

配給：Small Planet Productions

2017年／ギリシャ／59分

日本語版制作 2018年／59分／日本語字幕・日本語吹替

【監修】岸本聡子（トランスナショナル研究所〈TNI〉）

【字幕】内田真木子 【編集】脇元寛之（株式会社SGN）

【吹替版声優】イッキ／大谷理美／緒乃冬華／加藤健

亀岡孝洋／川原慶久／くわはら利晃／今野悠人

槌柴智康／三野友華子／森田樹優

【企画・制作統括】内田聖子(PARC)

【協賛】毛利太郎／笹野頼子／尾形一穂

水は生きとし生ける命すべてのもの／津富宏

クラウドファンディングにご支援いただいた皆様

【制作】特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター（PARC）



〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F
TEL: 03-5209-3455 / FAX: 03-5209-3453
office@parc-jp.org / http://www.parc-jp.org



上映会のご予約・お問い合わせ

一般財団法人 大竹財団



東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階

JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分（八重洲地下街24番出口右階段すぐ）、
東京メトロ京橋駅7出口から徒歩3分、東京メトロ日本橋駅B3出口から徒歩4分



<https://ohdake-foundation.org>



03-3272-3900



Google
マップ
QRコード

スマートフォンのQRコードアプリで読み取ると、現在地から会場までのアクセス方法が検索できます

